

平成 22 年 4 月 16 日

各 位

会社名 アビックス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 熊崎友久
 (コード番号：7836)
 問合せ先 管理本部本部長 桐原威憲
 (TEL. 045-670-7720)

平成 22 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 4 月 16 日開催の取締役会において、業績の動向を踏まえ、平成 21 年 5 月 15 日に発表いたしました平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の平成 22 年 3 月期通期業績予想を修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正等

(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,266	38	24	24	476 円 99 銭
今回修正予想 (B)	944	△194	△201	△164	△839 円 03 銭
増減額 (B-A)	△322	△232	△225	△188	—
増減率 (%)	△25.4%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	925	△405	△419	△880	△17,500 円 26 銭

(注) 本資料に記載しております業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断いたしましたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって本資料の予想数値と異なる場合がありますことをご承知おきください。

2. 修正の理由

平成 22 年 3 月期において、当社の関連するパチンコホール業界や広告業界において、想定以上に経済環境の回復が遅れております。第 4 四半期に見込まれていた多くの案件が影響を受け、売上業績に影響を与えております。具体的には、第 4 四半期に見込まれていたパチンコホール業界およびスポーツ市場における大型映像看板設置の案件が延期や失注したことが挙げられます。その他、第 4 四半期に販売として見込んでいた案件が、リース・レンタル方式への成約に切り替ったことも、長期的な売上見込は蓄積されたものの、売上の期間配分により、売上高減少の一因となっております。

この結果、平成 22 年 3 月期の売上高につきましては、平成 21 年 5 月 15 日に公表いたしました予想を下方修正いたします。営業利益、経常利益、当期純利益につきましても、経費の削減により費用支出は大幅に改善されておりますが、売上高減少の影響を補うには至っておらず、いずれも下方修正いたします。

尚、平成 22 年 3 月期において、営業キャッシュフローは、経費削減、在庫削減、安定収益源の確保の戦略を通じて、既に通期を通して黒字化を達成する予定です。

今後の具体的な施策につきましては、本日開示の「アビックスリニューアルプランの完了および 2010 アビックス三ヵ年計画の策定について」をご参照ください。

以上